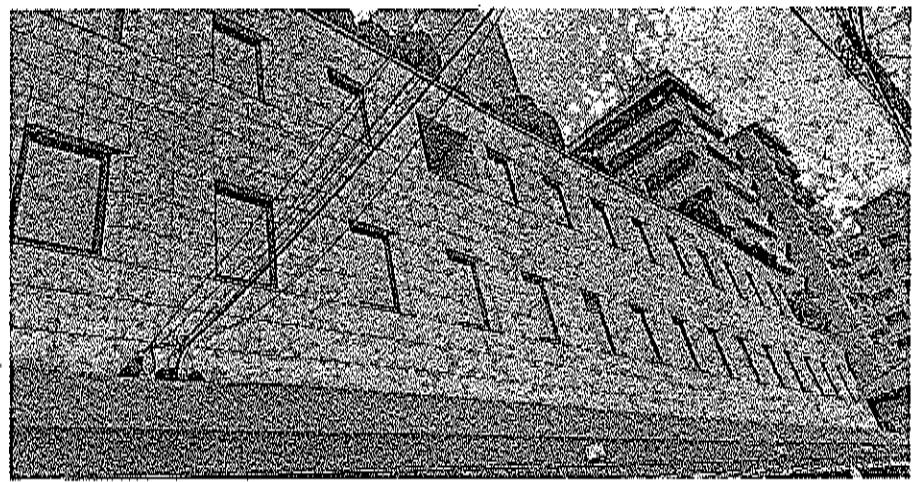


「Dappi」発信元に



▲「Dappi」の発信元となっているワンズクエスト社が入るビル=東京都内

▼自民党都連がワンズクエスト社に支出したことを記載した政治資金収支報告書

支出の目的	金額	年月日	支出を受けた者の氏名
修了証書作成	264,000	3/26	"
テープ起こし	541,547	3/3	(株)ワンズクエスト
パンフレット作成	36,300	3/3	"
Vimeo Premium 費用	9,900	3/6	(株)ワンズクエスト
テープ起こし	156,396	3/8	"

一般市民を説いて野党を説得(ひきのう)中傷したツイッターの匿名アカウント「Dappi」の発信元企業が、自民党東京都支部運営会(自民党都連)から昨年だけで400万円超の業務を受けていたことが17日、東京都選舉監理委員会が公表した2021一年分の政治資金収支報告書でわかりました。「Dappi」の発信元はウェブサイト制作会社のワンズクエスト(東京都世田谷区)です。

自民都連が400万円

自民党都連は、ワンズクエスト社に「テープ起こし」(2件、計210万円余)、「特設ページ制作代」(一件、172万円余)など5件、計404万円余を支出しています。前年の20年は、都連がワンズ社に約78万円を払っており、5倍以上も同社への支出が増えています。とにかく目を引くのが「テープ起こし」への210万円もの支出。他の業者の「テープ起こし」の金額を調べると、高額なものでも1分当たり400円ほどでした。仮にこの金額で計算すると、ワンズ社は50000分を超える音質の字起こしをしたことになります。

「Dappi」の中傷投稿では、国会での演説や質問から間もなく、その発言部分が編集され字起こしされています。投稿までの早さから、組織的な関与が疑われてきました。

自民党都連は、ワンズクエスト社に「テープ起こし」(2件、計210万円余)、「特設ページ制作代」(一件、172万円余)など5件、計404万円余を支出しています。前年の20年は、都連がワンズ社に約78万円を払っており、5倍以上も同社への支出が増えています。とにかく目を引くのが「テープ起こし」への210万円もの支出。他の業者の「テープ起こし」の金額を調べると、高額なものでも1分当たり400円ほどでした。仮にこの金額で計算すると、ワンズ社は50000分を超える音質の字起こしをしたことになります。

ワンズ社側は、「一人の従業員による私的な投稿」として会社としての関与を否定しています。しかし、裁判で、ワンズ社は昨年4月ごろに「Dappi」の投稿をする従業員を特定していたとも説明。それにもかかわらず、同年10月まで半年近くも「Dappi」の中傷投稿が続いている。同社の説明は不自然さが際立ちます。

本紙の取材で自民党都連は「担当者が終日不在」とのべました。ワンズ社は「日々方までご回答していません。

した。また国会審議を終日、聞いていないといけない内閣の投稿です。

「Dappi」の投稿は、昨年9月に発信したがワンズ社であることが判明し、数日後の10月2日を最後に止まっていました。

この投稿をめぐっては、立憲民主党の小西洋之参院議員らがワンズ社に損害賠償を求める裁判を東京地裁で起していまます。